

# 新型インフルエンザに備えましょう



秋田県医師会  
会長 秋田 健先生

新型インフルエンザが全国的に猛威を振るっています。日本では発生当初に比べ、次第に危機意識が薄れてしまっていたようですが、密かに感染は拡大していました。死亡者も出ており、夏休みも終わり学校が再開されるこの時期から、再び警戒を強める必要があります。

新型インフルエンザの死亡率は、現在の時点で0・5%と言われており、季節性インフルエンザの0・1%の約5倍です。症状は突然の高熱、関節痛、咳、咽頭痛など、季節性インフルエンザと同様で、殆どの方は軽症のまま数日で軽快しています。

ただし、次に挙げる方は重症化するリスクがあると言われていています。

- ① 乳幼児を含む20歳未満の方
- ② 妊婦
- ③ 人工透析を受けている方
- ④ 糖尿病・喘息などの持病を持っている方

また、インフルエンザ脳症にも油断ができません。6歳以下の小児に多く、高熱後に突然の持続する痙攣、意識障害や意味不明な言動がみられ、急激に症状が進行します。

インフルエンザ脳症を発生すると、死亡率が10%弱で25%に後遺症がみられており、注意が必要です。インフルエンザ脳症が疑われる症状がある場合は、すぐに医療機関を受診してください。

秋田市の場合、今までは4病院に発熱外来を設けていましたが、感染拡大を受け、9月からは産婦人科や透析外来など一部の医療機関を除いた多くの医療機関を受診することができます。

ただし、どの医療機関にもインフルエンザ以外の患者さんが来院しています。他の患者さんへの感染拡大を防ぐために、次のことに気を付けてください。

- ① 受診の際には必ずマスクを着用する
- ② 受診前に電話を入れ、新型インフルエンザを疑う症状があることを申し出る
- ③ 受診時間や受付場所等に制限がある場合はそれを守る

新型インフルエンザが発生してからの期間が短いので、これからも新しい事が発見されいくと思います。必要以上の警戒も、不用意な楽観も望ましくありません。正しい情報に基づき、知識を深めて対処していきましょう。

# Health



秋田県医師会 ☎018-833-7401  
<http://www.akita.med.or.jp>  
[info@akita.med.or.jp](mailto:info@akita.med.or.jp)